

都市と農村の特徴を活かした つくば型アグリビジネスの推進

つくば地域管内は、つくばエクスプレスの開通により定住人口と交流人口が増加しています。この社会環境と地域の農業資源を活かした農業体験の受け入れや地域オリジナル商品の開発などに取り組む農業経営「つくば型アグリビジネス」を推進しています。農業体験の受け入れ、新商品開発に加え、地域産業振興を視野に入れ、地産地消を目指した農業、商業、観光業連携の取り組みを支援しています。

● 農業体験の受け入れ ●

消費者には農業や農村環境を楽しんでもらう、一方で、農業者は農業所得向上につなげることを目的に、つくば市農業・農村男女共同参画推進委員会から「つくば・いなか体験応援隊」が平成19年7月に独立しました。47の個人とグループで組織されています。個人による農業体験受け入れの他、年に数回、応援隊主催で会員が協力して「おもてなし」を含んだ農業体験交流を行っています。



たけのこ掘りのコツを伝授



つくば市産ブルーベリー 100%のドリンク

● 地域農産物を活かした商品づくり ●

地域を代表する農産物など豊富な地域資源を活かした商品づくりを目指して、つくば地域いきいき女性農業者の会等を中心とした女性グループでの研究会の開催、ステップアップ支援事業の活用等によって支援しています。米粉のケーキやブルーベリードリンクなどが開発されました。今後は、販売等についても商業者との連携を支援していきます。

● アグリフード in つくば 2008 の開催 ●

農産物等の地域資源を活かした商品づくりを目指し、農業、商業、観光業の地域リーダーと消費者、約90名が一堂に会しました。つくばの地域資源についての共通認識を持つため、地域を代表する農産物47品の展示、農業者・商業者の加工品12品の紹介、農産物を活かした提案料理17品の試食を行い、地域農産物の利用について検討しました。意見交換では、今後もこのような研究会を行ってほしいとの意見があり、継続して支援する予定です。



農業観光連携の第一歩となる研究会